

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200185
法人名	社会福祉法人 白寿会
事業所名	グループホーム 和
所在地	鹿児島県薩摩川内市中福良町2911番地1 (電話) 0996-22-0753
自己評価作成日	平成30年2月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用車が穏やかな気持ちで安心した毎日を送っていただけるように、職員は、些細なことであっても「気づき」を声に出すことにしています。それらの「気づき」をもとに随時ミーティングをおこなうことが習慣化しており、ご利用者の体調把握、心のケア、不安解消、安全対策などに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、同法人の特別養護老人ホームや在宅介護支援センター、デイサービスセンター等が隣接している。緊急時等の対応には法人内の協力体制が構築されている。
- ・自治会に加入し、地域との交流に積極的に取り組んでいる。地域の清掃活動などの行事に参加したり、認知症についての講演依頼を受けたりする一方、法人の行事にも多くの住民の参加がある。
- ・災害訓練は定期的に年2回行い、消防署の指導も受けている。災害時の避難場所としての提供や地域関係者・地域住民との災害訓練について今後の課題として捉えている。
- ・拘束ゼロが法人の方針であり、事例や課題に基づいて定期的に勉強会を実施し、職員の共通認識を図り、拘束をしないケアに取り組んでいる。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員育成にも力を入れ、資格取得に向けた支援や各種研修への出席も奨励している。職員は気づきを大切にして、個々人の体調管理や心のケア、不安解消、安全対策などに努め、利用者が笑顔でその人らしい生活ができるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所運営の原点であり、大切にしています。自分たちに迷いや悩みが生じた際、理念に立ち返るようにしています。	理念は玄関やフロアに掲示し、契約書にも明記している。申し送りや職員会議等でケアの実践を振り返り、確認しながら、理念を共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	単発的な交流はありますが、日常的交流と言えるまでにはな至っていない現状であり、努力目標のひとつであります。	自治会に加入し、回覧板等で地域と情報を交換している。クリーン作戦や秋祭りなどの地域行事に積極的に参加し、事業所の夏祭りなどの行事には多くの地域住民の参加がある。地域サロンで講演や認知症についての相談を受けるなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方へ、認知症の理解を深めていただけるよう、講演などの機会がありました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業所の報告に終始する傾向があり、委員の方の意見等をうまく引き出せていないのではと感じています。</p>	<p>会議は定期的開催し、事業所の状況やヒヤリハット・外部評価の報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。ヒヤリハットについて再度研修を重ねて、傾向を分析しヒヤリハットを活かすよう取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>日頃から連携を密にするのは難しい部分がありますが、部署ごとに相談できる人を作っています。</p>	<p>市担当者には、必要に応じて窓口に出向き助言を貰っている。成年後見制度についてもアドバイスを貰うなど、日頃から相談や連携を取り合える協力関係ができています。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所として身体拘束はおこなわないことを宣言しています。物理的な拘束を含め、言葉等で行動を制限する事が無いように全員で気を付けています。徘徊対策を理由に施錠をおこなうことはありません。</p>	<p>法人全体での研修会に参加した職員が、事業所での会議で伝達している。事業所でも3ヶ月毎に身体拘束廃止委員会を行っている。言葉による拘束を含め事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。昼間、玄関の施錠をせずに自由に出入りできるようになっている。外出希望の利用者には声かけしてさりげなく散歩に切り替え誘導している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉の乱れが、虐待等につながる可能性があると考え、職員同士で注意ができる環境を作っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今後、成年後見制度を活用される利用者も増えると思われ研修等に参加する機会を設けています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、事例や想定されるケースを挙げて、分かりやすい説明に努めております。しかし、契約に要する時間も長くなるため、内容をしっかり伝えた上で時間短縮ができないか考えています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族等が面会に見えた際になるべくお話をさせていただき、意見等伺えるように努めています。また、近況報告を兼ねてお電話等することも多く、そうした関りの中で意見をいただいております。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見や要望を聞いて対応している。家族からは面会や運営推進会議が意見を聞く良い機会としている。3ヶ月毎に「ホーム便り」で近況報告を送付して話を聞いている。出された意見や要望を職員で話し合い運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員が働きやすい環境をつくることは事業運営の安定を図るうえで大切なことですので、どんどん意見が出るように働きかけております。また職員の自主性が発揮されるよう配慮しています。</p>	<p>管理者は会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。コミュニケーションを図り、年2回自己評価を実施し、個人面談で意見を聞いている。経営についての意識を持ち、食材購入などに反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課を導入しており、職員の努力や実績を反映できるようにしています。また、有休を時間単位で取れるようにして働く環境づくりも意識しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外で研修・勉強会の機会は多く、資格取得も推奨していますが、まだ本人任せの部分も多く、今後は専門性を高めるため、個々に合ったスキルアップ研修を事業所主体で取り組みたいと考えています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の管理者と交流や職員の研修等の機会を作ろうと話をしていますが、具体的などころまで至っていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずはじっくりとお話をお聴きすることから始めています。その情報は職員と共有しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者同様、じっくりと話を聴くことから始めています。直ぐに対応できないことについては、なるべく対応するよう心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「その時」必要な支援だけでなく、今後の生活を見据え、本人の変化等に応じて適切なサービスが実施できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、本人の自己決定する力を引き出す関わりを意識しており、職員主導で物事を決めることがないよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	良好な関係が築けていると考えています。本人と家族を中心に、職員が関わるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	里帰りや電話や手紙いろんな方法で関係性が保てるよう努めております。	親族や馴染みの友人・知人の面会がある。馴染みの友人と交流したり、手紙や電話の取次ぎなども行って、馴染みの関係が途切れないよう支援している。家族の協力で、理・美容院利用や墓参などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しがちな利用者へは職員が中間に立つ形で関りを持ちます。利用者同士はおおむね良好な関係を築いています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談や支援をおこなう用意はありますが、実際は難しいと考えます。家族から介護保険制度や他施設の相談などを受け対応した実績はあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ほとんどの利用者が「わが家」に強い思いを持っておられ、そのことが原因で認知症の症状が現れます。根本的な解決は難しいですが、なるべく傾聴し寄り添うよう心掛けています。	家族からも情報を得、利用者との会話や表情、発した言葉などを記録している。思いを受け止めた情報は全職員で共有している。困難な場合は職員で話し合い、可能な限り傾聴し、寄り添うようにして、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴等は重要な要素ですので本人や家族に協力いただき情報を収集し、支援方法のヒントにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方を概ね把握しており、お手伝い等で力を発揮できるように支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成においては、本人、家族等の意向が反映されるよう検討して作成しています。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>総合的な記録を残すためには、職員個々のレベルアップや計画を意識した記述が必要であるが、情報を共有しながら改善点やより良い暮らしにするためのヒントにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>臨機応変な対応ができることは、事業所の魅力にもつながるので取り組む考えですが、正直どこまで可能であるか分からない部分であります。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者全員ではありませんが、それができているケースもあり今後そのような利用者が増えるよう関わりたいと考えています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医と築いて来られた信頼関係を大切に考えています。事業所とかかりつけ医も良好な関係を築いており、体調急変等においては迅速に協力いただいています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。専門医受診は家族の協力の下で行っている。月2回の訪問診療もある。協力医療機関からの24時間体制で緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現状看護職員との協働はほとんどなく、かかりつけ医との連携で支援しています。医療連携が重視される昨今事業所の方向性として今後の課題と考えます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのような関係づくりを行ない利用者の安心につなげたいと考えます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の前段階でターミナルケアをおこなわない方針を説明して納得いただいておりますが、図らずも看取りを経験しており、今後はケースに応じて対応できるよう事業所全体のレベルアップが必要になると考えています。	重度化や終末期に向けてターミナルケアを行わない方針を説明して同意を得ている。今後は必要に応じて対応できるよう事業所全体で検討し、24時間医療体制が整っており、地域の関係者との包括的な支援も含めて関係作りを検討している。状況で看取りになった事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署主催で行われる救命講習に参加した職員も増え、予備知識は十分備わってきましたがシミュレーションを繰り返し実施して実践力を付けたいと考えます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域とおこなう火災訓練等が未実施であり課題である。</p>	<p>消防署の指導の基に年1回、夜間想定で実施している。さらに自主で年1回、昼夜想定での避難訓練を実施している。防火設備は定期的に点検している。スプリンクラーや緊急通報装置も整備している。自治会で定期的に独居世帯の見回りを行っており、地域への協力体制を検討している。災害時の水・米・レトルトカレー・調味料・缶詰等の備蓄やカセットコンロなども用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者と職員親しく良好な関係が築けていますが、横着な言葉遣いにならないよう、礼を欠いた接遇にならないよう事業所が最も重視している部分になります。</p>	<p>研修会や勉強を行い職員の資質向上に取り組んでいる。利用者とコミュニケーションをとりながら信頼関係を築き、相手の立場にたち入室の時もノックと声かけをしたり、入浴時やトイレなどの時もプライバシーを守り優しく丁寧な言葉かけをして、一人ひとりを大切に支援している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>思いや希望を表出していただくには職員との信頼関係を築くことが大切であると考えます。何事も自己決定を基本として職員は配慮しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>安全面等を考慮した場合、職員主導になる部分はどうしてもありますが、利用者主体である事は全職員理解しており、概ね希望に沿えていると思います。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>尊厳に繋がる部分であるので、みだしなみには気をつけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや食器洗い等に協力をいただいています。	利用者の嗜好や食事の形態に配慮して献立を作成している。食事の下ごしらえや食器洗いなどを職員と一緒にいたりしている。誕生日の祝い・外食・季節の行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアも大切にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分補給においては、本人の状態に合わせた対応をいたしており、栄養バランスに関しては法人の管理栄養士が立案したメニューを参考にしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合った方法で口腔ケアができるようにしています。また、口腔内に異常がある場合早期歯科受診をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべくトイレでの排泄を心掛けています。残存機能が活かされるように全てを行うのではなく個々の特徴を見極めながら支援しています。	一人ひとりの排泄リズムの把握に努め、必要に応じての声かけや見守り・確認することでトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間はポータブルトイレ使用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体調不良、不穏行動が生じた時に直ぐに便秘を疑う程、排便については気を配っています。体操や食べ物の工夫をおこない、最終的には薬の力も借りることになります。概ね、排泄コントロールができていると考えています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	なるべく希望に沿うかたちで入浴いただいています。湯船に入る手順が個々に違うので補助具等の充実により、不安が和らぐようにしたいと考えています。	基本的には週3回、午後になっている。個々人の体調や希望に応じて柔軟に対応している。状況に応じて補助具を利用したり2人介助で対応している。入浴を拒む利用者には、時間調整や職員の連携で入浴を楽しめるよう支援している。温泉もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠たくないのに無理に寝ていただく必要はないのではと考えています。心が穏かになれるよう会話したりお飲物をお出ししたり工夫をしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個別の薬の把握は概ね出来ていると考えております。症状の変化はかかりつけ医に連絡をして処方変更等を検討していただいたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本来、何の制限を受ける事もなく出来て当たり前のことですので、なるべく希望に沿いたいと思っております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族の協力を得ながら外出の機会を保っています。今後は、行事等により外出の機会も十分確保されるように努めたいと思います。</p>	<p>日常的には敷地内の足湯に出かけたり散歩をしている。ドライブを兼ねて買い物に出かけたりもする。敷地内でのデイサービス利用者のゲートボール見物も楽しんでいる。行事計画で初詣や花見・地域の運動会の見物に出かけたりしている。家族の協力で外出や外食にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金が手元に無い不安を訴える利用者があり、家族に相談し幾らか持っていただくことで心の安定につなげたケースがあります。また、お金を使う楽しみのため、買い物支援もおこないました。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>その都度対応できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、空間を楽しむ工夫をしています。心地よく過ごせるよう室温、湿度等にも気を配るようにしています。	共用の空間はゆったりとした造りで明るい。天井が高く採光や換気・温度、湿度に配慮し清潔である。ホールからウッドデッキに出られるようになっており、外気浴も楽しめる。壁には季節感のある作品が飾られている。畳間もあり、オルガンもある。多くのソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	館内を自由に使っていただいております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんできた環境を出来るだけ再現していただけるようお願いしています。	居室はエアコンがあり、ベッドや寝具類・タンス・椅子・テレビ・仏壇・時計・家族の写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	多少の不便はあって当たり前と考えておりますが、トイレのドアが原因で事故になったケースがあり仕様を変更するなど安全を優先しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない